

いさやま大介



プロフィール

市政を身近に

教員の両親から生まれる。
神戸大学発達科学部を卒業
中学から大学までは水泳部のキャプテン（現在、神戸市水泳協会副会長）
灘区の松蔭中学と神戸海星中高等学校で18年間教員を勤める。（理科と化学を教える）
地元少年野球部の元コーチ、地域こども水泳教室の現コーチ

2015年、19年、23年神戸市会選挙連続当選、現在3期目
都市交通委員会委員長（2025年6月現在）
議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。
教員経験を活かし教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。



発行元

こうべ未来市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館27階
TEL: 078-322-5844 FAX: 078-322-6161

Vol.39

5月議会にて、一般質問に立ちました！

民生委員・児童委員の活動について

質問のポイント

- ☑ 「地域のつながり、地域力の強化」、「さまざまな課題を抱えた人びとの支援」などに取り組む「民生委員制度」は平成29年に100周年を迎えている。
- ☑ 2025年に一斉改選を迎える民生委員・児童委員の成り手不足問題はどのようにするのか。
- ☑ 多世代交流など、活動内容の充実についてどう考えているのか。
- ☑ タブレット端末を活用して民生委員活動をDX化する狙いと課題はどのようなものか。

○ 久元市長：民生委員・児童委員の成り手不足の背景として、推薦母体でもある地域活動団体も成り手不足の問題を抱えているということ、複雑・多様化する福祉課題を背景に活動の負担が増しているということが挙げられると同時に、活動があまり知られていないということも原因として挙げられるのではないかと。これまで、実費弁償額を政令市最高水準まで増額し処遇改善を行ったほか、業務の負担軽減など活動しやすい環境の整備に取り組んできた。



▶多世代交流ふれあいスペース

活動の負担軽減と担い手確保のため、本市独自の民生委員支援員制度も設けている。

民生委員活動に関心をもってもらえるよう、対応を強化していきたい。

○ 副市長：民生委員・児童委員には、地域の高齢者や障害者に加え、子供や生活困窮者、独り親世帯などに関しても身近な相談相手、また支援へのつなぎ役として積極的に関わっていただきたい。

また、民生委員の理解が得られるように、意見・提案を機能の改善や運用の見直しにつなげ、時間をかけてこのDX化を進めていきたい。